



山口市

報道資料

令和6年7月17日

1 件 名 山口市の魅力を伝える小学生向けパンフレットの発刊

2 内 容

この度、小学生を対象として本市の魅力を伝えるパンフレット「おさらいやまぐち」を作成しました。

この「おさらいやまぐち」は、N.Y.タイムズ紙で「2024年に行くべき52カ所」に選出され、高く評価された本市の歴史や文化、伝統などを中心に編集、発刊したもので、このパンフレットを通じ、改めて本市の魅力を子どもたちに再発見してもらい、本市への愛着や誇り、郷土愛の醸成などにつながることを目的としています。

夏休み期間を利用して、子どもたちに本市の魅力を体験してもらうことができるように、1学期の終業式前に各学校へ配付します。

配布部数 15,000部

配布先 市内小学校34校（全児童対象）

配付予定 7月17日まで

「彩都山口」は、山口市の魅力を広く発信する情報誌として、山口市にしかない魅力を市内外に発信するために、年1回発刊している情報誌であり、本市が誇るモノ・人・歴史・技・味・自然の恵みなど「彩り豊かな山口の魅力」を紹介しています。

この度は、この「彩都山口」を冠したパンフレットを作成し、子どもたちにわかりやすく本市の魅力を届けようとするものです。

3 問い合わせ

総合政策部 企画経営課

TEL 083-934-2746



おお うち よし たか きょう と やま ぐち し みやこ 大内義隆は京都から山口市へ都を

やまぐち し むろまち じ だい おおうち し おこな き
山口市のまちは、室町時代に大内氏が行ったまちづくりが基
礎になったと言われています。大内氏は地方政治だけでなく
幕府の政局にもたびたび関与し、さらに東アジア諸国との交
易も盛んに行った西日本の有力大名。「実は16代・義隆が日
本の都を京都から山口市へ
移す遷都計画を練っていた」との説もあるほどの勢
力を誇りました。「瑠璃光
寺五重塔」は豪華絢爛な
大内文化の象徴とも言え
ます。



る り ぐ じ ゑ じ ゅ う の とう
瑠璃光寺五重塔

せつ し ゅ う そう さく かつ どう はげ やま ぐち し 雪舟が創作活動に励んだ山口市。

雪舟と山口市。



彩都山口12号

おお うち ぶん か はな ひら やま ぐち し 大内文化が花開いた山口市には

おおうち し やまぐち し きょう も はじ
大内氏が山口市で京のまちを模したまちづくりを始めたの
は1360年頃のこと。それ以降、歴代当主も同様にまちづく
りを展開し、京都的要素、大陸的要素、独自の要素と3つの
要素を併せ持つ大内文化が花開きました。そんな山口市に
は、2003年、日本の代
表的な現代アート拠点
「山口情報芸術センター
(YCAM)」も誕生。
「アートのある風土」は
脈々と受け継がれてい
ます。



ワイカム
YCAM

うつ 移そうとしていた!?



彩都山口13号

じ ゅ う え い じ に わ ひつ けん 常栄寺の庭は必見!

やまぐち し がせい よ むろまち じ だい すいぼく が かせい し ゅ う そう
山口市は、「画聖」と呼ばれた室町時代の水墨画家・雪舟が創
作活動に励んだ地です。中でも特に知られる雪舟ゆかりのス
ポットが「常栄寺」。境内には雪舟が作庭したと伝わる庭があ
り、室町時代の最高傑作と言われています。作庭を依頼した
のは西国一の大名・大内
氏。15世紀半ば、29代・
政弘が雪舟に声をかけた
と伝えられます。まるで水
墨山水画のような美しい
庭は一見の価値あり。



じ ゅ う え い じ
常栄寺

さい せん たん 最先端のアートがある!



彩都山口15号

アートと山口市。

おそろいやまぐちMAP

←小郡

●湯田温泉神社
●湯田中学校

A 高嶺城跡

山口県庁
4 5

●水ノ上窯
●洞春寺
1 瑠璃光寺五重塔
香山公園前
観光案内所

し
知っちゃる!? 山口三大祭り。

やまぐちさんだいまつ
山口三大祭りは、大内氏が先祖の冥福を祈
るために始めたと伝わる「山口セタちょうち
んまつり」と大内弘世が京都から勧請した八
坂神社の例祭「山口祇園祭」、そして、
古熊神社の御神幸祭「山口天神祭」!



常栄寺

●護国神社

山口県立大学

仁保

ちょうちんまつりは8月6・7日、
祇園祭は7月20~27日、
天神祭は11月17~25日に開催!



●仁壁神社

宮野駅

262

防府



にほん だいひょう
日本を代表する
現代アートの拠点。

2003年に開館した日本の代表的な
現代アートの拠点「山口情報芸術セン
ター(YCAM)」。展覧会や公演、ワー
クショップなど多彩なイベントを開催。



彩都山口15号

山口情報芸術センター(YCAM)

JR山口線

山口駅

み
見かけたら手を振ってみよう!
SLやまぐち号

昭和40年代、全国の蒸気機関車が廃止される中、
1973年に山口線からも姿を消したSL。地域の熱い想
いにより1978年に復活したのが「SLやまぐち号」。



彩都山口15号

1 高さ8メートルの白ぎつね!

白ぎつねが温泉で傷を癒していたことから発見さ
れたと伝わる湯田温泉。湯田温泉駅前の巨大白ぎ
つね像をはじめ、温泉街にはぎつね像が点在!

湯田温泉駅前のゆう太像



2 全国的にも珍しい「手湯」が楽しめる!

湯田温泉街には6つの足湯ほか、全国的にも珍し
い「手湯」もある! 湯田温泉観光案内所前と源泉
が湧き出る様子を観察できる温泉舎では飲泉も。

足湯・手湯



3 当時は全国で唯一!伊勢から神霊も勧請。

大内義興が伊勢から神霊を勧請して創建した山口
大神宮。当時、勧請を許されたのは全国でここだけ!
室町時代における大内氏の隆盛が伺える。

山口大神宮



4 維新の扉をノックしたのはここ!

幕末の1864年、毛利敬親が萩から山口へ藩庁を移
転した際に建てられた「山口政事堂」の門。1870
年に現在の地で再建された。県庁側の脇門は常時開
かれ、今でも通り抜けできる。

旧山口藩庁門



5 大正時代に建てられた国の重要文化財!

旧県庁舎と旧県会議事堂は、西洋の近代的な建築様式
と伝統的な建築洋風が融合した貴重な建物。空から見
下ろすと旧県会議事堂は「山」、旧山口県庁は「口」の
形に!

山口県政資料館(旧県庁舎および旧県会議事堂)



6 官軍の「錦の御旗」はここで作られた!

1868年の鳥羽伏見の戦いで官軍が掲げた「錦の御
旗」は、品川弥二郎が京都西陣で材料を購入し、この地
にあった養蚕所の一室で製作されたと伝わる。

錦の御旗製作所跡



7 山口も流れる「京都の鴨川」!?

春は桜、初夏はホタルと四季折々の風物詩が堪能でき
る川。室町時代、京を模したまちづくりをした大内弘世が
鴨川に見立てた川としても知られる。

一の坂川



8 「学都山口」はここからスタート!

長州藩士の土田房陽は、のちの山口明倫館となる山口
講堂を創設。ここには山口明倫館の兵学寮があり、維新
の十傑の一人、大村益次郎も指導。ちなみに山口講堂は
山口大学の根源にあたる。

周防明倫館兵学寮跡



9 その昔、山口駅があった場所。

JR山口線が誕生する以前、山口市には
たった4年しか存在しなかった幻の鉄道
が! かつて山口駅があったこの場所は、
一の坂川交通交流広場に。

彩都山口15号



一の坂川交通交流広場

10 総理大臣などの揮毫がずらり!

1877年創業の料亭の建物を移築復元した観光文化交
流施設。100畳もある大広間には伊藤博文や山県有朋
など近代日本史にその名を刻む偉人たちの揮毫が並ぶ。

山口市菜香亭



山口市に文化芸術施設が集結!

あ い う え お

夢を育む土壌は整っているぞ!
山口市は文化芸術都市!

けんりつ びじゅつかん けんりつ ほんぶつかん けんりつ としょかん もんじょかん
県立美術館、県立博物館、県立図書館、文書館、
埋蔵文化財センターと、山口市には文化芸術施設
が充実! しっかり利用すれば、研究者やアーティ
ストへの道が拓けるかも…!?



山口県立山口博物館



山口県埋蔵文化財センター



山口県立美術館



山口県立山口図書館



山口県文書館

おさらい やまぐち

れき し ぶん かし ぜん
歴史、文化、自然、アート…

やま ぐち し み りょく
みんなでおさらい! 山口市の魅力。

